研究テーマ アメリカ文化・文学研究、SF研究

所属 教育学系（教育学）共同教員養成課程

准教授 竹腰佳誉子
https://researchmap.jp/kayo_toyama

研究分野	アメリカ文化、アメリカ文学、異文化コミュニケーション
キーワード	建国期アメリカ、博物学、SF、ブラックフェミニズム、異文化コミュニケーション

研究室URL：

研究の背景および目的

文化・文学・思想を横断的に捉え、人間と自然、テクノロジー、社会との関係性を批判的に検討している。研究の出発点は、アメリカ独立革命期から19世紀初頭にかけて、建国の父たち等知識人の科学や博物学への関心を通じての国家像構想にある。現在は、この歴史的研究を基盤に、スペキュラティヴ・フィクションを対象として、人種、ジェンダー、環境、テクノロジーの表象とその再構想を探究している。また、異文化間における様々な問題がいかに理解・交渉されるかにも関心を持っている。



■主な研究内容

私の研究は、大きく三つの領域からなる。
第一に、アメリカ建国期における科学的思想および庭園思想と博物学的知の研究である。アメリカ哲学協会に属した知識人や政治家の科学や博物学への関心、植物学者バートラム親子との交流、および彼らの著作等を分析することで、科学的実践や庭園が国家理念や文化形成に果たした役割を検証してきた。例えば、当時主流であったヨーロッパ的庭園様式とは異なるバートラム親子の庭園が、独立後のアメリカの方向性を構想するうえで知識人たちにとっての重要な思想的基盤となっていた点を明らかにした。
第二に、現代文化における表象研究である。ブラック・フェミニズムおよびアフリカンフューチャリズムの視点から、スペキュラティヴ・フィクションや映画作品を分析し、黒人女性の（不）可視性、AIやテクノロジーとの関係性、身体性やアイデンティティの再編成といった問題を考察している。物語が、既存の社会構造を批判すると同時に、代替的な未来像を提示する機能に注目している。
第三に、異文化コミュニケーションに関する研究である。異文化間において、様々な社会・文化的問題がどのように理解され、交渉されるのかを検討している。

期待される効果・応用分野

本研究は、「科学・博物学」という観点からアメリカ建国史に新たな視点を提示する。また、スペキュラティヴ・フィクションの分析を通じて、既存の社会構造を再考し、未来の社会像を構想するための知的基盤を示すものであり、文化研究、メディア研究、異文化コミュニケーション研究などへの応用が期待される。

■共同研究・特許など

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/kayoko-takegoshi/